

第3回 学校運営協議会

令和8年2月18日(水)

浜松市立細江中学校 会議室

13:30~15:30

次 第

1. 会長あいさつ
2. 校長あいさつ
3. 議長選出
4. 第2回協議会会議録の確認
5. 熟 議
 - (1) ふるさとキャリア教育について
 - ・ホソフェスの代表者発表(まちづくり協議会)についての報告
 - (2) 学校関係者評価
 - ・学校の現状、課題および改善策についての話し合い
 - ・細江中学校いじめ対策基本方針についての評価
 - (3) 令和8年度学校経営方針
 - ・学校経営方針の承認
 - (4) 学校運営協議会の自己評価
 - ・本年度の活動の振り返りおよび次年度にむけた目標についての話し合い
6. その他
 - ・夢育やらまいかCS加算分の報告
 - ・令和8年度学校運営協議会予定
 - 第1回 6月 4日(木) 13:30~15:30
 - 第2回 11月20日(金) 10:00~12:00
 - 第3回 2月17日(水) 13:30~15:30

浜松市立細江中学校

第3回学校運営協議会 参加者名簿（敬称略）

○ 委員名簿

会 長	山 本 浜 雄	委 員・ 学校支援コーディネーター	佐 藤 憲 孝
副 会 長・ 学校支援コーディネーター	加 茂 里 佳	委 員	白 柳 恵 美
委 員	内 山 有 香	委 員	山 本 武 志
委 員	吉 田 真 譽	委 員	船 越 こ ず 恵
委 員	太 田 か お り	委 員	石 田 潤 司

○ 学校職員

校 長	遠 藤 健 司	事務職員	野 栗 絹 世
教 頭	岡 田 充 弘	CSディレクター	鈴 木 小 百 合
主幹教諭	宮 下 友 樹		

代表生徒のみなさんへ

ホソフエスに向けた企画・準備・練習、ごくろうさまでした。そして、すばらしい発表をありがとうございました。みなさんの吟味されたテーマ、工夫されたプレゼン、聞き手を意識した発表、好奇心をくすぐる提案、どれもが素敵で魅力でした。

つきましては、学校運営協議会および3年生の先生方が自信をもってみなさんを推薦しますので、ぜひ細江中代表として、まちづくり協議会で発表してください。

日時：12月13日(土)14:00～ 会場：みをつくし文化センター2F

班No.	分類	テーマ
303	環境	未来のためにできること～都田川ゴミ拾い・釣り活動～
321	観光	キ。細江の活性化について
326	福祉	Change the future～子ども食堂の活性化～
340	郷土愛	地域の祭りを盛り上げたい

学校教育目標	夢実現へ挑戦する生徒の育成
--------	---------------

学校経営目標	たくましい実践力のあるいきいきと躍動する学校 1 確かな生徒理解のもと、生徒一人一人のよさや可能性を生かす学校 2 互いに磨き合い、高め合い、夢実現に挑戦する学校 3 生徒・保護者・地域から信頼され、応援される学校	めざす生徒像	夢と希望をもち、力強く歩み続ける子 1 自分の思い・考えをもつ生徒 2 自分も人も大切にす生徒 3 人とつながる生徒 4 挑戦する生徒
--------	--	--------	---

めざす生徒像を実現するための今年度の重点目標	重点1 確かな学力 主体的・対話的で深い学びを生み出す授業の中で確かな学力を身に付ける 重点2 豊かな心 健やかな体 一人一人の心と体の健全な育成に向けた丁寧な指導・支援を一層充実させる 重点3 地域とともにある学校づくり 地域との連携・協力を一層充実させ、地域とともにある学校づくりを推進する
------------------------	--

ふるさとキャリア教育				
気付く力 自分のよさに気付く 地域のよさに気付く 疑問・価値に気付く	考える力 自分事として考える 情報を分析する 論理的に考える 課題を解決する	つながる力 人の考えとつながる 仲間とつながる 地域とつながる 実社会とつながる	伝える力 コミュニケーションをする 自分の考えを伝える 地域に発信する	将来をえがく力 学び続ける意欲 将来の自分の姿をえがく・進路選択 よりよい社会や地域をえがく

生徒評価						
評価項目	令和6年度	令和7年度	評価項目	令和6年度	令和7年度	
基礎・基本的な学習内容が身に付いた。	3.3	3.4	進んで明るいあいさつをした。	3.4	3.5	
集中して授業を受けることができた。	3.3	3.5	きまりを守り、正しい身なりで生活した。	3.7	3.6	
挙手・発表や話し合い活動（意見交換）など、積極的に自己表現ができた。	2.9	3.0	TPO（時・場所・状況）をわきまえた発言や行動ができた。（例：敬語が使える、公共の場で騒がないなど）	3.5	3.6	
自分の意見を主張しすぎず、仲間の意見も大切にすることができた。	3.5	3.6	自転車のマナーや交通ルールを守って、地域の方々や一般車両の迷惑にならないように、安全に登下校ができた。	3.6	3.6	
発表するとき、聞き取りやすい声で語尾まではっきりと発言することができた。	3.1	3.2	健康的な生活を送ること（生活のリズムの安定、十分な睡眠時間、病気の予防行動など）を意識できた。	3.3	3.4	
教科の授業や学活、道徳、総合的な学習の時間において、タブレットを十分活用できた。	3.6	3.5	自分だけでなく、仲間のことも大切にした学校生活（発言・行動）を送ることができた。	3.5	3.6	
宿題以外の家庭学習にも意欲的に取り組んだ。	2.9	3.0	SNSの利用を含み、情報モラルを守った適切な使い方ができている。	3.8	3.7	
授業の内容は分かりやすかった。	3.3	3.5	5つの力（気付く力・伝える力・考える力・つながる力・将来をえがく）を意識して生活することは大切なことだと感じている。	3.4	3.4	
「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思う授業が多かった。	3.1	3.2	5つの力（気付く力・伝える力・考える力・つながる力・将来をえがく）を意識して日々の学校生活することができた。	3.1	3.3	
学校行事（体育大会、合唱コンクール、修学旅行、野外活動、地域探訪等）に積極的に取り組めた。	3.7	3.7	学級や生徒会、部活動等での役割に対し、集団のために役に立ちたいと思って取り組むことができた。	3.4	3.3	
部活動、校外クラブ等では、技術や体力の向上に向け、ねばり強く取り組むことができた。	3.6	3.6	学級や生徒会、部活動等での役割に対し、やって良かったと感じている。	3.5	3.6	
将来の夢や身近な目標をもって、日々の生活を送ることができた。	3.1	3.3	各項目の点数は、下記のように各項目を4件法にて回答し、点数化し平均で示したものできている：4 だいたいできている：3 あまりできていない：2 できていない：1			

保護者評価					
評価項目	令和 6年度	令和 7年度	評価項目	令和 6年度	令和 7年度
学校は、子供にとって「わかる授業」を行っている。	2.9	2.9	お子様は、家庭学習の習慣が身についている。	2.5	2.4
学校は、「あいさつが響く」「思いやりがあふれる」「全力を尽くす」など、一人一人の可能性を伸ばす学校づくりを推進している。	3.1	3.1	学校の様子を含め、親子の会話を欠かさないようにしている。	3.2	3.2
学校は、いじめや差別がない、互いを認め合うことができる集団の育成を推進している。	3.1	3.1	将来の夢や身近な目標について、親子で話をしている。	2.9	2.9
学校は、「細江中学校いじめ基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	3.1	3.1	お子様は、朝・晩のあいさつや登校・帰宅のあいさつなど、家に人や近所の人にあいさつをしている。	3.1	3.1
学校は、地域や家庭と連携し、地域とともにある学校づくり（社会に開かれた学校）を推進している。	3.2	3.2	お子様は、毎日朝食をきちんと摂っている。	3.6	3.6
学校は、魅力ある学校行事を推進している。	3.2	3.2	お子様は、生活のリズムを崩すことなく、毎日おむね同じ時間に起床・朝食・登校・帰宅・夕食・就寝ができています。	3.0	3.1
学校は、子供の安全や健康のための取り組みを十分に行っている。（適切な学級閉鎖や防災訓練、薬学講座、交通安全教室、いしかけデーなど）	3.3	3.4	SNSを含む、インターネットの使い方や利用時間等に関して、お子様と話をしている。	2.9	2.8
お子様は、基礎・基本的な学習内容が身についている。	2.6	2.6	登下校時の交通ルールの順守等、安全（防犯）に関する話をお子様としている。	3.2	3.1
学校は、便りやホームページ等で、学校の様子をよく知らせている。	3.4	3.2	各項目の点数は、下記のように各項目を4件法にて回答し、点数化し平均で示したものできている：4 だいたいできている：3 あまりできていない：2 できていない：1		

学校運営協議会委員					
評価項目	令和 6年度	令和 7年度	評価項目	令和 6年度	令和 7年度
学校は、子供にとって「わかる授業」を行っている。	3.0	3.3	学校は、魅力ある学校行事を推進している。	3.5	4.0
学校は、「あいさつが響く」「思いやりがあふれる」「全力を尽くす」など、一人一人の可能性を伸ばす学校づくりを推進している。	3.8	3.7	学校は、夢や希望の実現に向けた「ふるさとキャリア教育」の充実を図っている。	3.8	4.0
学校は、地域と連携し、地域とともにある学校づくり（社会に開かれた学校）を推進している。	4.0	3.9	学校は、子供の安全や健康のための取り組みを十分に行っている。（適切な学級閉鎖や防災訓練、薬学講座、交通安全教室、いしかけデーなど）	3.8	3.7
学校は、いじめや差別がない、互いを認め合うことができる集団の育成を推進している。	3.8	3.9	学校は、便りやホームページ等で、学校の様子をよく知らせている。	4.0	3.7
学校は、「細江中学校いじめ基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	3.8	3.9	各項目の点数は、下記のように各項目を4件法にて回答し、点数化し平均で示したものできている：4 だいたいできている：3 あまりできていない：2 できていない：1		

教職員評価	
<p>行事や日常で、常に生徒が目標を持っている状態が夢実現へ挑戦する生徒の育成によいと改めて感じた。</p> <p>合唱コンクールでは、「いきいきと躍動する」にふさわしい元気がありました。予測のつかない日々の中でも、実行委員をはじめとした生徒と生徒らが歌う曲の元気がとてもよかったです。</p>	<p>ホソフェスでは、3年生中心に生徒が主役となって発表できていたと思います。ほとんどが生徒主導で行うことができていた。</p> <p>授業での3年生の様子から、生徒たちなりに緊張感をもって意欲的に学習に臨もうとする姿勢が感じられる。</p> <p>専門委員会の一人一人がそれぞれ思考を巡らせながら活動できていると感じる。</p>

自己評価の考察
<p>生徒会本部や実行委員会が中心となり、ホソフェスや合唱コンクール等の学校行事に主体的・自律的に取り組む姿が見られた。特に3年生がリーダーシップを発揮し、生徒主導で企画・運営を行うことで、集団としての高まりや行事を通した達成感・自己有用感を深く味わうことができた。</p> <p>生徒評価において「授業の内容は分かりやすかった」や「基礎・基本的な学習内容が身に付いた」の数値が向上しており、教職員による授業改善の成果が表れつつある。一方で、保護者評価における家庭学習の習慣化は横ばい（低下傾向）であるため、今後は「わかる授業」のさらなる充実に加え、家庭とも連携しながら、生徒が自ら学びに向かう意欲や学習習慣の定着を図る必要がある。</p> <p>「細江中学校いじめ基本方針」に基づき、組織的な未然防止・早期発見・早期対応に努めた結果、保護者および学校運営協議会からの評価ポイントが前年度より上昇した。生徒間でも「仲間を大切に」意識が高まっているが、SNSの適切な利用に関する評価はわずかに低下しているため、情報モラル教育の充実や家庭との連携を強化し、見えない部分でのトラブル防止にも注力していく。</p>

学校関係者評価の結果（令和8年2月18日 第3回学校運営協議会）
<p>「ふるさとキャリア教育」は、生徒のプレゼン能力や地域愛の深まりが委員から高く評価された。いじめ防止について、教員の真摯な寄り添いや相談しやすい環境作りが高い信頼を集めている。一方で、ICT活用は日常化しているものの、保護者評価における家庭学習の習慣化や、学校からの情報発信の充実度には依然として課題が指摘された。</p>

次年度に向けての改善方針
<p>「わかる授業」を追求し、家庭と連携してタブレットを有効活用した学習習慣の定着を図る。いじめ防止ではSNS等の「見えない課題」への対応を強化し、家庭との情報共有を密にする。地域連携では、生徒のアイデアを地域の祭典等で具現化できるよう地域団体と調整を進める。また、HP等を通じて活動の意義を保護者へより戦略的に発信し、学校への理解と協力を深める。</p>

令和8年度学校経営方針

【学校教育目標】

夢実現へ挑戦する生徒の育成

【学校経営目標】 たくましい実践力のあるいきいきと躍動する学校

- 確かな生徒理解のもと、生徒一人一人のよさや可能性を生かす学校
- 互いに磨き高め合い、夢実現に挑戦する学校
- 生徒・保護者・地域から信頼され、応援される学校

【経営の基盤】

- 学習指導要領（「生きる力の育成」「社会に開かれた教育課程」等）
- 第4次浜松市教育総合計画（「はままつ人づくり未来プラン」2年目）
- 発達支援教育の理念
- 教職員の「たゆまぬ自己改革」

【目指す生徒像】 夢と希望をもち、力強く歩み続ける子

- 自分の思い・考えをもつ生徒
- 自分も人も大切にしている生徒
- 人とつながる生徒
- 挑戦する生徒

目標・目指す生徒像を実現するための今年度の最重点

キーワード 「つなぐ・つなげる」

確かな学力 学びを「つなぐ・つなげる」

主体的・対話的で深い学びを生み出す授業の中で確かな学力を身につける

- 生徒の主体的な学びを生み出す単元構想、時間の確保、支援、見届け、評価
- AI分析の積極的活用 実態把握と課題改善への具体的方策の実施
⇒「個別最適な学び」「協働的な学び」の一層の推進
- 「ふるさとキャリア教育」の付けたい力の意識化、付けた力の統合・拡張
「ガイダンス」と「振り返り」の充実

豊かな心と健やかな体 心を「つなぐ・つなげる」

一人一人の心と体の健全な育成に向けた丁寧な指導・支援を一層充実させる

- 3つの合い言葉「あいさつが響く細江中学校」「思いやりがあふれる細江中学校」「全力を尽くす細江中学校」が生徒の姿に表れる丁寧な指導
- 確かな生徒理解と心の声を見逃さない積極的で機をとらえた生徒指導
- 個に寄り添った適切な支援と、どの子にも居場所や活躍の場がある学校づくり
- 「嫌自芽」の表れと対処に関わる適切な教育（いじめ予防への取組）と「いじめ」の早期発見、組織的な対応
- 生徒が自らが自身の体力と心の健康を育む姿勢や態度を身につける指導・支援

地域とともにある学校づくり「人・もの・こと」を「つなぐ・つなげる」
地域との連携・協力を一層充実させ、地域とともにある学校づくりを推進する

- 地域の人材や教育資源を授業や行事等で積極的に活用した「人づくり」の推進
- 総合的な学習の時間を核とした「ふるさとキャリア教育（細江中の人づくり）」の推進
- 各教科、特別活動、部活動等、すべての教育活動を「つなぐ・つなげる」
- 学校運営協議会・PTA・地域関係機関との連携の推進
- 家庭・地域への情報発信の充実

常に意識したい重点

学校行事

ねらいに迫る魅力ある学校行事を推進する

- 生徒の主体性の伸張と人間的な成長につながる学校行事の推進
- 伝統の継承と新たな試みに挑戦する学校行事の創造
- ねらいを明確にした行事の「精選」と「充実」の両立

安全教育

防災教育、交通安全教育等、命を守る教育を推進する

- 「最優先の安全確保」と「臨機応変な判断」
- 現実の被災や危険を想定した防災、安全教育の推進
- 危機管理マニュアルの理解と現状に合わせた改訂

部活動

移行期の部活動指導体制の構築に向けた取組を推進する

- 部活動運営方針に基づいた適切な部活動運営
- 個性の伸張、主体性、協調性、責任感、連帯感の育成
- 目標達成に向けた過程におけるよりよい人間関係の形成
- 移行期の部活動指導体制の構築に向けた具体的な方策の実施
- 地域展開に向けた早めの準備と連携

学校運営

全職員が参画する学校運営体制を構築する

- 全職員の学校運営参画意識の向上
- 目標達成に向けての協調・協働（各チームの団結とチーム間の連携・協働）
- 生徒一人一人に寄り添った誠実・丁寧な支援

研修

ともに学び合い高め合う教職員集団を確立する

- 生徒のために常に自己を高める意識の向上と主体的な自己研修の推進
- 厚い「信頼」を寄せられる教職員となるためのたゆまぬ努力
- 校内研修を核とした「ともに学び合い高め合う教職員集団」の確立

(様式1)

学校番号 (小・**中** 048)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(細江中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

ふるさとキャリア教育のサポートをはじめ、その他の教育活動においても、細江中の生徒が活躍する姿を地域に発信したり、必要な支援を考えたりする。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ **ア** よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校運営の基本方針やいじめ防止基本方針について校長から丁寧な説明があり、共通理解を深めることができた。
- ・発言しやすい雰囲気の中、細江中の生徒のことを思い、各委員がそれぞれの立場から建設的な意見を述べ充実した熟議ができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ **ア** よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・「総合的な学習の時間」の発表会を中心に学校の様々な活動を参観し、「生徒の学びの姿」や「現状と課題」について確認し、生徒たちのためにどのような支援ができるのか、より具体的に熟議できた。
- ・学校以外においても委員の親睦を図り、忌憚のない議論を交わすことができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った **イ** 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・協議内容について学校ホームページで公開したり委員が各々のところで発信したりし、地域へはだんだん周知されてきているが、まだ十分な周知ができたとは言えない。今後も情報発信には力を入れていくべきである。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・情報発信を充実させて、CSの活動を保護者や地域に周知していく。
- ・部活動地域移行について学校運営協議会として協力体制をとる(地域への説明・情報収集など)